東郷村報

第95号

昭和34年10月15日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高
株式会社 安藤印刷所
電話64番

農協再建に思う

東郷農業協同組合長　黒木松美

昭和三十四年度の通常総会もおくればせながら過ぐる八月十九日、組合員皆様の常ならぬ御協力に依りまして、無事終了さして戴き本年度事業計画の御承認を得ました事を心から感謝申し上げます。

現在における農協の内容のすべてにつきましては、それ〴〵座談会、総会を通じまして詳細御説明申し上げました通り之が経営につきましては尚容易ならないものがある事は申上げるまでもないと思います。

農業団体として唯一の機関である農協の再建が如何に組合員ならびに村民の農業経営の面に、あるいは商工業の振興等に直接、間接に及ぼす其の影響等について認識を深められ再建についての強力なる体制の確立が出来得たものと考えまして御同慶に堪えない次第で有ります。

特に本年度の計画の一であります、農協再建特別定期貯金の目標達成につきましては、時期的に一番苦るしい折りにも拘らず絶大なる御協力を戴きまして壱千壱百五拾八万円と言う目標額を突破し右計画の実行が出来、九月十三日抽せん会も盛大に行われました事につきましては運動期間中の村議会議員の方を初め各区長生産組合長、貯蓄推進委員各種団体、各位の本村にかつて見られない涙ぐましいなみ〳〵ならぬ御努力を戴き、又此の趣旨と目的をよく御理解、受け入れられて御協力を戴いた組合員の方々に対しまして深甚の謝意を表する次第であります。

再建整備組合としての私たちの農協の有り方は一言すれば「計画の実行にある」と言う事でつきると思いますしたがつて事業の計画が完全に実行せられるか、否かにあると思います。多くを申上げるまでもなく過ぐる総会、並に抽せん会で皆様方から決議して戴きました

一、本年度末貯蓄目標五千壱百萬円を達成する。
一、農林産物の共同販売体制を確立し事業計画完全達成を期する。
一、肥料の共同計算に基く予約購買の完全実施。
一、農家経済の安定化と不時災難にそなえる為、生命共済、建物更正共済の全戸加入。

数字的な事は別と致しまして右の事項が折込まれて、本年度の計画が出来て居ります事も御承知の通りであります。

壱千萬円貯蓄達成について御協力を願つた、あの意気と再建意欲を事業計画すべての面に御配意御支援戴きますならば東郷農協の再建必ず成る事を確信するものであります。

部内職員其他の執行体制につきましても県信用農業協同組合連合会から現職々員のまゝ橋口次夫氏「参事」の出向を御願い致しまして着々体制が確立、強化されつゝある事も御承知の通りであります。かゝることによつて内容を整備し組合員の信頼の出来る農協の姿となつて、本来の使命を達成し皆様方の御期待に応うべく我々役職員一丸となつて再建の為、努力致す覚悟で、はりきつて居ます。

組合員皆様方の此の後とも絶大なる御協力を御願い申上ぐる次第であります。

議会報告

東郷村議会臨時議会は九月二十九日午前十時村議会議事堂に招集され会期二日間で次の事件について審査決定した。

○議案第三十四号
予算外義務負担について
東郷村農業協同組合再建整備資金として昭和三十五年度に二百万円、昭和三十六年度に二百万円を補助することに可決確定した。
なお本件については前年度における同農協の整備計画実施成績の状況により補助しないことがある旨の附帯条件が付してある。

○議案第三十五号
造林事業資金の起債について
村有林の造林事業資金として二百万円以内を起債することに可決確定した

○議案第三十六号
東郷村公平委員会委員の選任について
本村公平委員松沢国太郎氏の任期万了に伴う後任者の選任であつて同氏を再選任することに同意議決した。

○議案第三十七号
東郷村教育委員会委員の任命について
本村教育委員会委員杉田三郎氏の任期満了に伴う後任者の任用についての議案で同氏を再任命することに同意議決した。

○認第一号
昭和三十三年度東郷村歳入歳出決算（一般会計）の認定について
本件については才入五六、〇一八、二五九円に対し才出五二、〇八六、三八七円で差引き三、九三一、八七二円が翌年度繰越で原案通り認定した。

○認第二号
昭和三十三年度東郷村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
本件については才入九、二一六、三八七円に対して才出七、八三二、二二八円で差引き一、三八四、一五九円が翌年度繰越で原案通り認定した。

○認第三号
昭和三十三年度東郷村国民健康保険直営診療施設特別会計歳入歳出決算認定について
本件については才入六、六三〇、二九九円に対して才出六、二二八、八一八円で差引き四〇一、四八一円が翌年度繰越で原案通り認定した。

宮崎県一の稲作りといわれる住吉の井上さんの田圃を視察する福瀬下村婦人会員（福瀬下の主人達方宮崎で一泊二日で提供して共有林売却金の一部を婦人の視察旅費に提供は日頃の主婦の労をねぎらうために面を見学した）

村民の定期健康検診の実施について

亡国病と言われる結核撲滅のための健康診断は結核予防法と言う法律で国民の義務となつておりますが法律より恐ろしいのは結核です結核は発見も治療も早くすることが最も大事です。昨年からこの定期集団検診は全額無料で受けられます。

診断は「ツベルクリン注射」と「予防接種」と「レントゲン撮影」と「精密検査」とからなつております

本村では十月十七日から二十四日迄の間に各区日程を定めて検診を実施します

詳しい事は各世帯に実施表を配りますから日時を間違いのないように生後六カ月以上の者は家族全員必ず診断に来られるようにお知らせします。

自十月十七日　至十月二十四日は
村民健康診断期間です。
一家そろつて検診を受けましよう

青年会館
建設資金の
一億貯金運動
に協力しよう

東郷村役場職員配置表

役場では九月一日付で職員「れによる現在の村長の事務の配置替を行いました。この補助機関及外局の分担は次のとおりであります。

村長　黒木松美
助役　渡辺義春
収入役　藤崎今朝男
教育長　塩月儀市

課(室局)名	課(室局)長	係名	係(長)主任	係員
総務課	木村誠	庶務係	新名秋二	筌瀬亀夫、森紀世（使丁）敏原孝徳
		厚生係	三浦淳	吉野尚子
		衛生係	山本一正	
		消防係	塩月景幸	
		統計係	東村吉市	
		戸籍係	柳田恒雄	兼伊藤信次郎、兼草野昭二
		住民登録係	伊藤信次郎	草野昭二、兼柳田恒雄
		商工水産係	伊藤信次郎	草野昭二、兼柳田恒雄
経済課	三原辰己	農務係	富山貞夫	清水清、兼海野勝
		畜産係	山添久敏	
		養蚕係	海野勝	
土木課	福良善男	土木建築係	矢野森一郎	甲斐久生
		耕地係	矢野森一郎	
		林務係	山口俊一	小林理教
税務課	筌瀬春美	賦課係	海野千代磨	菅林義和、矢野恵美子
		調査係	本多茂雄	
		徴収係	矢野直	矢野望、橋口幸一
国民健康保険課	中田豊	保険係	寺原寿夫	松本キヌエ、寺原久栄
		直営診療所	課長兼務	畝原正義、寺原恵
				高木淳子（使丁）稲田キミエ
				医師、看護婦については省略
出納室	収入役兼務	会計係	収入役兼務	小林銀一、大石和子
議会事務局	木村映一			
農業委員会			塩月操	矢野久利
教育委員会	教育長兼務	総務係	黒木勝	
	学校教育係	黒木勝		
	社会教育係	志知島敏身	那須幸雄	
選挙管理委員会	助役兼務			新名秋二、森紀世

点滴

◇柿が色づくころになるときまつて裏の林の梢にモズが来てかん高い声で啼く。山畑にはソバが真白に咲く、田圃に黄金の波がたゞよう。実りの秋である。

◇幾度か発生した台風は本年ものがれて豊年であることは誠にうれしいことであるが伊勢湾台風による東海地方の大被害を思う時、こうした豊年の年にこそ心を引き締めて不幸の年の備えをしなければならない。

「貯蓄あれば憂えなし」冗費をはぶいて貯蓄しよう。「備えあれば憂えなし」防災につとめて備蓄しよう。

◇村青協の体育大会につづいて村内各小、中学校の運動会が盛大に行われて親も子供も楽しい一日をすごすことができた。運動会はどこまでも学校教育の大事な行事であるのに行楽気分で見学する者も、まだあるように、ちよい〳〵見受られて、さびしい思がする。

◇十一月三日「文化の日」に村内各分館単位で排球大会が行われるそうだ。本村では初めてのくわだてで本村社会体育に新しい歴史が創られるのである。技の上手下手は問題ではない体育を楽しむる心こそ大事で排球を共にすることによつて生れ出る協同の精神が尊ばれるのである。老いも若きもこぞつて参加して「文化の日」を祝しながら楽しい一日を送ることにしよう。

菊の日球
はずみ声こだます

本年も台風の被害もなく、いよいよ稲の収穫期になつて御多忙のことと思いますこの機会に、空巣ねらいや粗悪の品物を行商する者がやつてきますので、だまされないようにするとともに家には留守番をおくなど、被害にかゝらぬよう、御用心を願います。

派出所だより

山陰部長派出所

秋の交通安全運動

交通事故は文化の進むにつれて増加するばかりであります。本年になつて、九月末までの交通事故は、本県下で、四八五件発生し、死者六五名、負傷者三五三名日向署では、五八件の発生に、死者一七名、負傷者七〇名の多数にのぼつております。山陰派出所管内でも二名の死亡者を出したことは遺憾であります。

本年の秋の交通安全運動を十月十六日から二十五日までの十日間、全国いつせいに、次のことを、重点において、行うことになりましたので、皆さま方のお協力をお願いします。

一、対面交通と正しい横断
二、自動車の安全運転
三、自転車は左側を一列に
四、交通道徳を高めよう
五、交通の環境をよくしよう

現場保存への協力

犯罪や犯人を証明する証拠を集めるためには現場が、そのままに保存されていることが不可欠の条件であります、しかし一般では、このような犯罪現場の保存が充分でないために、犯行を裏付ける、手がかりがえられず、みすみす、犯人を逃がしたり、解決を長びかせている例が多いので、犯罪が発生しましたときは、現場はそのままにして電話など早い方法で、もよりの派出所、駐在所に連絡して下さい。

農繁期防犯への協力

小学校の『国語』について

教育長　塩月儀市

小学校の国語科では児童の生活を重んじ、児童の欲求や必要に基いて、国語の能力を伸ばしていこうとする根本の立場においては、これまでと少しも変つておりません。したがつて小学校の国語科では、これまでの立場の上に立ち、それを認めた上で部分的に不備な点を改めたというだけです。

即ち

1、目標に「言語生活の向上を図ること」をかかげたこと

2、発音、文字、表記などを系統的発展的に示したこと

3、今まで教育漢字八八一字は六年までに教えればよかつたのと今度は学年に配当したこと

4、低学年から多くの漢字を学習するようにしたこと

5、作文の指導程度を示したこと

6、ローマ字を必修としたこと

等であります。

漢字の学年別配当は

一年

一二三四五六七八九十日月火水木金土左右上下大中小目耳口手足人子女先生赤青白山川田森雨花本正（四六字）

二年

雲円王音何夏家会海外学間気汽休中京玉空犬見元戸古工光行考校高合谷国黒今作糸思紙字時車秋出春書少色心西声夕切雪千前組早走草村多男池知竹虫町長鳥天冬東道読南入年馬麦半百父風分文米歩母方北名明毛門夜友用来力立林語（一〇五字）

三年

悪安暗意引運駅園遠屋温化科荷歌画回貝界開絵角活寒感岸岩額記起期客究急級球去魚教強橋局近銀苦君兄形計決県研原庫午後語公広交向黄号根才細算止仕市死使始指次寺自事持室実杜者弱主取首受終週集住重所暑助昭勝乗場食申身新深進親図数世星晴船全送太体台第炭茶着注柱昼通弟鉄店点電都度刀当投島答頭同動肉波配買売畑発坂板番皮美表病品負物聞平返勉毎妹万鳴面野役由遊葉様曜落楽里理流旅両礼和（一八七字）

四年

愛案衣以囲位医委育印員院飲泳英塩横加貨芽改械階害覚官関館観願季喜旗器機宮挙共協鏡競業曲極具郡係景軽芸血結建言固湖幸航港告差祭菜最材昨刷察散産残士史司姉歯詩試式失写借守酒種州拾習順初消唱商章照焼植臣信真成清勢静整席積節線戦選然争相速息族続卒孫他打対隊代題達短談治置帳調直丁定底停庭的転徒努湯登等燈堂童働内熱農反飛悲費鼻必氷秒不夫付府部服福粉別変便包放法望未味脈民命問薬油有勇予洋陽利陸良料緑輪類冷歴列連練路老労録（二〇五字）

五年

圧易胃移因栄永衛液演央往応億恩仮果河過価課賀快解各格確完漢管慣希寄規紀技義議久求救給居許漁興均区句資群型経欠件健験限現個護功厚候康講鉱査際在殺雑参蚕酸賛氏支示志師似辞識質舎謝収周修宿祝術準序承省常情織性政精製責績折接設説浅銭祖素倉想総造象像増則側測帯貸単団築貯張腸低敵典伝統銅導特毒独任念燃能破敗倍博飯比非肥備筆俵票標貧布婦武別復仏兵辺編弁保報防貿牧満務無迷綿約輪余要容養浴留量領令例（一九四字）

六年

異遺壱営益延可我革拡額株刊幹歓眼基貴疑逆旧供境勤禁訓糸敬潔券兼険検絹憲権減厳己故誤后孝効皇耕構穀混再災妻採済財罪策至私視詞資児釈授需宗衆就従述純処諸除招称証条状職仁推是制聖誠税舌絶宣専善創蔵俗属存損尊退態断忠著賃提程展党討得徳届難弐認納派拝犯判版否評富複奮陛補墓豊未盟訳預欲律率略監論（一四四字）

部落対抗バレー大会

一般村民のバレーボール大会を次のとおり開催します、奮つて御参加下さるようお知らせ致します。

記

一、趣旨　明朗で健康に富んだ生活を確立するために、スポーツのもつ役割は非常に大きいものがある。この意味において、部落並びに地域のスポーツ振興を図り健全な家庭と社会をつくるため本大会を開催する。

二、期日　十一月三日午前九時より

三、場所　東郷小学校

四、出場チーム

1、各分館(区)毎男女各一チーム

五、チーム構成

1、村内在住の一般社会人であること。

たゞし学生及び、官公署、学校、会社などに勤務している者は含まない。

2、チーム員数は九名とし別に監督一名をおく

3、チーム構成は男女別に左の年令制限を設ける。

満二十六才～三十才　二名

満三十一才～四十才　三名

満四十一才～五十才　三名

満五十一才以上　一名

4、一分館(区)男女各一チームを原則とするも大きな区においては、この限りでない。

六、試合方法

1、三セットゲームとする。

2、男女別にトーナメント戦とする。

七、その他

1、分館の各チームの構成に当つては館長と部落の体育指導員並に関係団体と相談してきめること。

2、この試合は選手養成のためのものでなく、将来社会体育を伸ばすための一つの機会とする。

なお当日は婦人の部落対抗継走大会も同時に行う。

東郷村青年野球を観て

長渡冠山

八月十七日、十八日（旧盆十四、五日）の二日にわたり東郷村青年団が、今年も亦野球試合を行うというので、私は二日間観戦しましたので其の成績と感想と批評とを左に簡単に申し述べます。

一、試合組合（　）中の数字は得点

優勝

鶴の内

九回戦

福瀬 5（11）—（8）仲深

福瀬 六回戦

（11）福瀬—八重原チーム（0）〜六回コール

福瀬チーム（9）〜ドゲーム

仲深チーム（11）〜六回コール

迫ノ内チーム（8）〜ドゲーム

鶴の内（9）—（0）小野田

鶴の内 七回戦

（9）鶴ノ内—鶴ノ内チーム（21）〜二回コール

田ノ川チーム（0）〜ドゲーム

小野田—羽坂チーム（9）〜九回戦

小野田チーム（13）〜ドゲーム

以上の成績を以て結局、今年は鶴の内チームが9～5のスコアーで優勝致しました。昨年準決勝で敗退した鶴之内チームが、今年は昨年の優勝チーム福瀬を破つて優勝したのは其の試合運びを覽ていると如何に練習したかゞ眼に見えて判然としていました。

今年は、どのチームも昨年より一段と向上進歩していましたが、田の川チームと八重原チームの二チームは練習不足の感が致しました、来年はより以上に練習量を重ねられん事を望む次第であります。

練習するにも、よい球場を持たない羽坂チームが、かくも上達したのは不思議に思つていましたが、後でよく聞きますと川原で練習やつた由、道理で八月七日の大水の時に野球ボールが、いくつも流れてました、之は多分同チームが竹籔に打込んで見当らなかつた球であつたろうと思います。

殊に同羽坂チームは、服装も正式のユニホームを全員揃つて着用していて、ほんとうに気持よく感じ、また羽坂部落が如何に青年野球に熱を入れていられたかも伺われまして共に嬉しく存じました。

次に各チーム中にて特に其プレーのあざやかで眼立つた選手をあげますと、投手では福瀬の塩月君、羽坂の沖田君、捕手では鶴の内の塩月君、遊撃手では福瀬の新名君、一塁手小の田の甲斐浩君、二塁手小の田の井上君、三塁手鶴の内の児玉君、右翼手福瀬山本君、中堅手福瀬、塩月君、左翼手福瀬、糸平君等が眼立ちました。

最近はスポーツが段々盛んになつて参りました。

五年後には世界オリンピック大会も日本で挙行されることになりました。スポーツの中にて観て最も面白いのは何んと云つても野球であらうと思います。

この面白い野球を何んで観に来んのだらう、何でラジオの放送を入れて聞かんのだらうと私は不思議に思つています。それは観ても聞いても判らんから見ざる聞かざるではなからうかと思います。

私は社会体育が大いに叫ばれている今日、村民ももつとスポーツに興味と理解をもつて野球に限らず、すべての体育の向上に力を注いで全村民が健全なる精神と体格を有する村に仕立てたいものだと思つています。

牧水郷土歌碑の讃

海野実門

婚姻二カ月後の明治45年7月、父危篤の報に新婦を残して帰郷した牧水は、傷魂の葬送を済ますと近親から『此ままに家に止まつて頽勢の立直しや老母の撫養』をせがまれ、憂悶の日々を重ねたが、遂に天賦の文筆に活きて名を成し〃孝〃を終えんと決意し、涙の袂を払つて翌年5月上京した。

其間の心の暗影が『ふるさとの尾鈴の山の悲しさよ』のむせびの声となつて刻まれた〃録音〃こそ、一生家近い丘上の巨巖（常々彼の練想、安息の場）を、其まま台材にしたゆかりゆかしい郷土歌碑!!

◇　◇

○君帰省(かへ)りて煩（わづら）ふ家事を佗びしらに山にむかへば山亦悲し

○山ふかく老いさぶ母を、都べのまぶたの妻をと視つ　かく視つ

○この歌碑や苔の香も古るそのかみの壯(さか)りし君が常立(ととたち)の丘

○にほやかに詩魂まぶかくちりばめし此石ぶみの久遠(くおん)の光り

○手を触りていはほの冷えもなづかしや彼が体温かつて宿せし

○苔蒼(あを)き岩が根時に酔醒めに凭りたる君が移り香のあと

○まぼろしやいはほに寝まる誰が姿(かげ)ぞ顧れば尾鈴霞こめたり

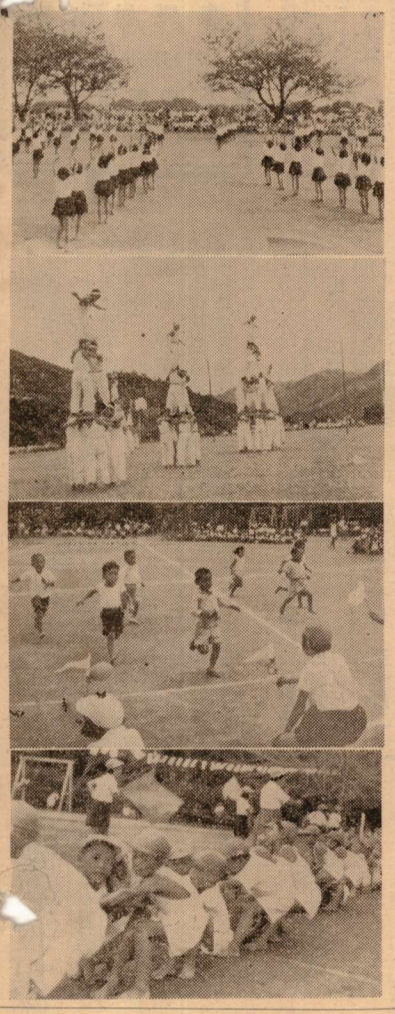
○さやさやと尾鈴颯しに秋ふかむ峡(かひ)ひそやかに鎮(しづ)むうたぶみ

世の中を明るくするために

赤い羽根募金

に協力しましょう

運動会風景



百日咳とヂフテリヤの予防接種

子供の大敵である百日咳とヂフテリヤの予防注射を十月末から十一月にかけて行います。

可愛い子供達を恐ろしい病気から守るために残らず接種して下さい。

一、生後三カ月から満二才までの乳幼児

（昭和三十二年十月一日から昭和三十四年六月三十日までに生れた子供）

二、来年に小学に入学する幼児

三、小学六年に在学中の児童

部落別日程は区長さんを通じておしらせします。

文芸

牧水祭短歌会入選歌（応募歌一四四首）溪水選

坪谷　矢野　文雄

（天）稲熱病よりたち直りつつ若芽立矢り鋭く伸びいそぎたり

北方村　甲斐　静雄

（地）妻と吾埃にまみれ畠を打つ一雨来らば大根蒔かむ

山陰　高木けい子

竈の火焚きつけて仰ぐ峡の空白みそめつつ星の光れり

坪谷　若林　博信

陽が入れば俄かに寒し峡間田の手に刈る稲はしめらひ深し

門川町　山本　信

（人）ともかくも父子物乞あはれにてためらひつつも銭あたへたり

都農町　黒木　実

九号は逸れたる如し明方の海鳴り少し和らぎて来ぬ

坪谷　矢野　矢柄

一町歩の稲田が花を揃えたり今朝台風十一号発生の放送をきく

南郷村　生田夜詩秋

大根の種蒔き終へて汗ふけば山むらさきに暮れて行くなり

坪谷　若林　博信

田に引かれ流れとぎれし大内川の底かわきつつ夏めきにけり

笹むらをぬらししづかにゆく霧の中に見えつつうすき秋の陽

民謡

東郷　やまし生

今夜独りで山小屋どまり渋茶ばかりで目が冴える

山の高さよ流るる川よ恩に着よとは言いはしない

私しや馬鹿だと言われた時は黙つて二十の指を見る

旅に出た折りや留守が気にかかる里はどこかよ尾鈴山

火事で煙草の火はつけられぬ火事の火元は煙草でも

笑い顔ならしわくちや婆もつん～娘に勝ります

弁は達者で体も丈夫百舌鳥は悲しや爪がある

山の陰とてざつと見てくるるな心温る陽も当る

紅葉すかして照るお日様のかげて働くわしや山師

山の中にもいもりにわくど腹の黒いに赤い奴

山の石南花うす紅さして誰に見しようと房に咲く

牧水祭応募歌

北方村槇峯　甲斐　静雄

炎天にもめげず呼び交う電工等の声たくましく頭上に聞ゆ

工具場の行き来の度に歩を止めて屋根塗る人の暑さをしのぶ

仲深　杉田与三郎

先き山の杉の林に夕陽さし降りける雨もいつしかやみぬ

秋そばの花白く咲く山畑にこぼれささげの紫の花

夕つきて光乏しき谷川瀬々にこもれる音のさやけき

山陰　高木けい子

竹山のしじまにひそむ冷やかさ軽き音して秋の雨ふる

山畑の風に吹かれていこいつつ疲れて小さき吾が足を見ぬ

風鈴の音もとだえてひるさがり旋風機に舞うすだれ涼しき

塩月　操

ひたばしる汽車の窓辺の夕暮れにそこはかとなくすずむしの声

新富町下富田　長友英一

釣竿の先にしたたる水玉は吾いとし子の涙にも似

一人寝の旅の枕に遠く聞く吾いとし子の父と呼ぶ声

野良に出て弁当開いて箸やればばいとし子の好きなハム入れてあり

坪谷　矢野千代松

虹に向ひ手を振りおらぶ子等の影が夕日を負ひてあざやかに見ゆ

埋立工事おほかたすみし築港の土堤ひろびろと来る涼風

またも破つて来し子の服か短夜を惜しみ縫う暗き灯の下

初秋とは想えぬ今日の炎天下嬉々としてさえずる子等は栗林の中

朝もやに菜車引き行く夫見送りて我も負けじと馬草刈り行く

台風季暑いですね云い交わす農夫の面に曇り一つなき

南郷村水清谷　生田夜詩秋

抵抗のなき全身にもろこしの葉ずれ泌みゆく夕暮れの道

炎暑なおきびしき日々に落ちつぎて地にひたつく幼な栗なり

迫ノ内　黒木　国子

濃き霧のしずかに消ゆる麓田に朝日照りつつ稲が出穂なる

ダム工事の真夏の昼のきびしくて機械の影が岩にしみ入る

山裾の炭焼窯場子等の来ればはや虻の尻に木の葉さして飛ばす

迫ノ内　黒木モトエ

歩み寄る吾児とあそべる母の日のこの幸福よ永くあらしめ

父去りて幾日か立ちぬ客絶えて今宵を百合のさみしく匂ふ

にわか雨あときわやかに夕晴れて墓場に群るる蜻蛉(あきつ)眼に映ゆ

迫ノ内　黒木　敏夫

高圧線の巡視となれるヘリコプターの巻くプロペラに秋風ひくし

萩咲ける野路に飯食う我が肩にさわらう如く低く飛ぶ鷹(がん)

癌ゆえに還らぬ父かしらじらとねむる額の素直を憎む

坪谷　高野　豊

村有林上りて見える坪谷村山に囲まれせまく見え

（以下次号につづく）